

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

iMuchas gracias, profesor Miyamoto!

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-03-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福鳶, 教隆, Fukushima, Noritaka メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/1841

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



宮本正美先生を送る言葉

福 寫 教 隆

宮本先生のスペイン語講読の授業。静かな教室に先生の謹直な解説の声が響く。先生は *un lobo del mar* という句を「老練な船乗り」と和訳したあと、やや間をおいて「♪老練，ろうれん，ローレン，ローレン，ローレン」と「ローハイド」のテーマ曲を歌い出す。

またある授業では、「*sincronizar* とは『同期する』という意味です」と言いつつ、神妙な顔でシンクロナイズド・スイミングの物まねを始める。

先生のいわゆるテッパン・ネタは *bikini*。「*bicicleta*（自転車）の *bi-* は『2つの』を表します。自転車には車輪が2つありますね」という説明に付け加えて、「でも *bikini* の *bi* は『2つの』じゃありませんよ，そう思う人もいるでしょうが」。そんなこと，誰も思わない！

先生がスペイン語圏の人に自己紹介する時は、「私の名前は ¡Mía moto, Más a mí!（スペイン語で「私のバイク。もっと私に！」の意）です」とおっしゃるのが常である。「バイク生産国のニッポンらしい名前だ」と，すぐ覚えてもらえるという。

このように，生真面目なコンテキストに意表をついて闖入する宮本先生のお茶目ぶりは，授業や，平素の会話，そして国際レベルで発揮され，接する全ての人を和ませ，誰からも愛される基となっている。

先生のご専門は，スペイン語学，ことに統語論，意味論，形態論，語彙論の分野である。我が国を代表するスペイン語学者の1人であり，その業績は極めて大きい。関西外国語大学に勤めておられた頃は，弱形代名詞の位置や動詞叙法の機能についての優れた分析を次々に発表され，多くの研究者に影響を与えた。特に，1984年に発表された身体部位表現における再帰代名詞の有無に関する研究は，根気強いデータの集積と優れた洞察力から「コロンブスの卵」的結論を導いた，白眉の論文だと言える。その結論は，私も授業でしばしば活用し，機会あるごとに紹介させていただいている。

本学に来られた頃から，コンピュータを駆使した語彙論，形態論，コンコーダンスの研究に軸足を移し，この分野での第一人者となられた。今のようなコンピュータ言語学隆盛の時代に遥かに先駆けて，その有用性を見抜き，データ入力を奥様の協力を得て積み重ねて来られた（宮本先生は名だたる愛妻家で，

会話の中では5分間に1回の頻度で「うちの奥さんは…」というフレーズが出る)。

その成果は、主に、動詞の活用形の分類や、形容詞の位置についての精緻な記述に反映された。2005年にはオランダの John Benjamins 社から発行された言語学論集 *Linguistic Informatics* に著者の1人として名を連ねるなど、その業績は海外でも高く評価されている。

スペイン語文法書『中級スペイン文法』(白水社, 1995) や『スペインの言語』(同朋舎, 1996)をはじめ、教科書の執筆や、辞書の編纂にも携わり、数多くの学習者がその恩恵を受けてきた。日本イスパニヤ学会の理事に何度も選出され、また関西スペイン語学研究会の設立・運営、同会機関誌 *Linguística Hispánica* の刊行にも大きな役割を果たしてこられた。東京外国語大学の21世紀COEプログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」にも参加して、多くの研究を発表された。

本学では、24年にわたって学部および大学院の授業を担当され、多くの学生や大学院生を育ててこられ、今も慕われ続けている。また、イスパニア学科代表として学科をまとめるとともに、入試委員長その他の重責を果たし、大学運営に多大な貢献を行なってこられた。

私も先生には、言葉で尽くせないほどお世話になった。教育・研究上の学恩はもちろんのこと、1986年度の在外研究に行く際に、マドリード大学の Ignacio Bosque 博士を紹介してくださったのも、大学寮 Colegio Mayor Casa do Brasil への入寮手続きを助けてくださったのも宮本先生だし、1991年度のスペイン交換教員として派遣された時に、ご友人の所有する家に住めるよう計らってくださったのも宮本先生である。宮本先生、本当にありがとうございました(と言いつつ、暴露ネタばかり書いて済みません。これは敬愛の証だと思ってください)。

宮本先生のご趣味は多彩で、テニス、自動車、枝雀の落語、そしてコンピュータ・プログラミングがあげられる。先生がラケットを持つ姿や、アメ車で颯爽と神戸の街を駆け抜ける姿をごらんになった人も多いだろう。しがらみから解放された今は、ますます余暇を楽しまれ、冒頭に述べたような、お茶目な宮本節にさらに磨きをかけて、私たちを引き続き導き、かつ楽しませてくださることを祈念して擱筆する。